

1. 移行措置へのスケジュール案

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
学会制度試験 ※2027年度まで受験可		●	●	●	●	×	×	×
機構制度試験	(学会制度研修者)	×	×	×	×	●	●	●
	(機構制度研修者)	●	●	●	●	●	●	●

※次ページの要件を満たした場合のみ
2028年度以降の機構制度受験が可能

2028年度の新規及び更新の認定をもって、学会制度の専門医広告表示が終了

機構制度への移行措置に関する追加単位・症例レポート

単位／レポート		学会制度	機構制度	追加で必要な単位など
前実績単位数		研修講習会参加単位 (研修講習会を受講する年度、計3回以上)	研修講習会参加単位 (研修講習会を受講する年度、計3回以上) 共通講習必修Aの単位 (医療安全・感染対策・医療倫理)の各1単位以上を取得	受験申請までに共通講習必修Aの単位取得が必須
		学術業績単位 ・学会発表 (任意) ・論文 (原著論文3本以上)	左に同じ	なし
経験症例レポート	入院/外来	症例数 最低15症例 (入院7症例以上)	症例数 最低15症例 (入院7症例以上)	なし
		提出疾患 11の必須疾患あり	提出疾患 12の必須疾患あり ①アトピー性皮膚炎、②薬疹、③接触皮膚炎、④膠原病、⑤乾癬、⑥色素異常症、⑦慢性皮膚潰瘍、⑧皮膚悪性腫瘍、⑨皮膚ウイルス感染症、⑩皮膚細菌感染症、⑪皮膚真菌症、⑫ 蕁麻疹	⑫蕁麻疹の症例の提出が必須
	提出数 10症例	提出数 10症例	なし	
	手術	(手術記録一覧) ・同一患者手術症例は除くこと ・皮膚生検は認めない ・植皮を必ず含めること ・主体的に関わった例を記載すること (第一助手以上)	(必須症例) ① 悪性黒色腫または有棘細胞癌または乳房外Paget病 ② 基底細胞癌 ③ 粉瘤 ④ 粉瘤以外の皮下腫瘍 ⑤ 顔面の腫瘍 ⑥ 分層または全層植皮術 ※必須症例番号③, ④, ⑤に関して+E8は術者として経験した症例とすること	①～⑥の経験症例を含むこと